

震災テーマに番組

FMとよみ 5、12日放送

気象に関する情報を伝える
防災につなげようと、豊
見城市を中心としたコミュニ
ティーFM放送局、FM



FMとよみの「お天気相談室」の収録
で、東日本大震災について説明する
沖縄気象台の裁吉信防災調査課長
(左) 2月21日、豊見城市豊見城

な取り組みなども実施して
いる。

「お天気相談室」は、沖
縄気象台職員を招き、専門
的知識を分かりやすく情報
発信している。2月21日に
収録された、5日放送の
「震災から学んだ教訓」、
12日放送の「津波から命を
守る行動」では、沖縄気象
台防災調査課の裁吉信課長
が出演。5日放送分で裁課
長は、震災時に大津波警報
が出されたにもかかわらず、避難が遅れた人たちが
いたことを説明。「いざとい
う時にどう行動するか、日
ごろから考えておくことが
大切」と述べ、日ごろから
の備えが必要と強調した。

5日の放送は午前8時10
分ごろに始まる。

とよみ(安慶名雅明社長、83
・2ヶ月)は昨年11月から
「お天気相談室」を毎週水曜
朝に放送している。11日に
東日本大震災から3年にな
るのを前に、番組では5日
と12日の2回にわたり震災
をテーマに放送する。

FMとよみは2008年
の開局以来防災に取り組
む。台風時には各地の被害
状況把握のため市内のタク
シー会社と協定を結び、情
報提供してもらうユニーク

つながる
3・11大震災3年